

平成30年10月17日

横手市議会議長 齋藤 光司 様

厚生常任委員会
委員長 高橋 和樹

『市民と議会の懇談会』 報告書

「市民と議会の懇談会」の実施状況を下記のとおり報告いたします。

1. 開催日時	平成30年 9月25日 (火)
2. 開催場所	旭ふれあい館 和室1・2
3. 出席議員	高橋和樹、木村清貴、立身万千子、山形健二
4. 申請団体	横手市内で子育てをしている方
5. 参加人数	11人
6. テーマ	横手で子育てをして思う事
7. 懇談会の内容	司会：横手市議会厚生常任委員会 委員長 高橋和樹 ①議会側の参加者の紹介 ②出席者からの自己紹介（簡単に名前程度） ③意見交換（発言内容は子育てに関するものであれば自由）

8. 意見交換の主な内容

■経過説明

- ・平成30年2月に同様の懇談会を開いた。今回は実際に現在子育て中の現役世代の方々に集まっていた。今回参加いただいたメンバーは、転勤のため他県から横手に移り住んでいる方が多く、他市他県と比べられる方が多かった。
- ・今回の会は、皆さんから頂いた意見を政策提案につなげるための意見交換の場である事、またそのために子育て関連施策を受け持つ厚生常任委員会のメンバーで伺ったことを説明し、意見交換を行った。

■主な意見

【子育て施策について】

- 双子の育児をしてみて感じたことは、とにかくお金がかかるという事。世帯年収や平均的な横手の月収を考えるとかなり家計を圧迫すると感じた。結果論から言うともう少し双子や多胎の家庭を対象に支援していただけないものかと感じていた。
- 今いる状況を当たり前だと思ってしまうがちだがそこが問題。マル福で医療費もかからないというのが当たり前と思っているが実はすごく助かるもの。多分子育てする環境として横手市はとても恵まれている方だと思う。
- 病後児保育の施設は毎日満室だそうで入れない方がたくさんいるらしい。その預かりにもう少し助成してもらいたい。
- 赤ちゃん訪問について、来る意味があるのか疑問に思う。ただ母子手帳を見せるだけで、話しもごく一般のことだけで、その子に対してとかその親に対してという内容がない。
- 赤ちゃん訪問に1回だけ来てもらっても何にもつながっていないと思う。身体測定だけの状況。そこから例えば母乳の相談とか、こういうサークルありますよとか、こういう時はこうですよっていうアドバイスをしてもらえる体制になって欲しい。例えばそこでおじいちゃんおばあちゃんと一緒に住んでいないと分かった時点で、何かにつながらせてくれるとありがたい。
- 赤ちゃん訪問の時、車に母子手帳を置き忘れて、雪の降る中、小さい子を背負って取りに行かされた。大雪の吹雪の時でちょっと不満に思った。
- 産後疲れで眠れなくなって参ったことがある。そのようなときにフォローしていただけるとすごく助かる。産後すぐ子どもと2人きりだとどうしても自分を追い詰めてしまったりするので、保健師等のフォローをもっと充実して欲しい。
- 産後の母乳ケアをしてくれるところが無い。個人でやっている助産師を勧められたが結構お金がかかる。授乳中のケアは病院でもしてくれる。私はすごく産後に張って悩んだ。保健センターに助産師などのケアをしてくれる方がいて、相談ができれば良いと思う。
- 横手市はすごく子育てしやすいと言われた。特にソフト面では困ることがあまり無い。
- 生活していて、他の国から比べると日本はすごく恵まれている国だ。保育園に預けられるのが当たり前で、待機児童はいるが、みんなが預けるのが当たり前だと思うから待機児童が発生すると思っている。本当に必要な人だけ預ければいいと思う。もっとそこは逆に厳しくても良いくらいだなと思う。
- 子どもを預ける時に心にも生活にも余裕がある方に出来れば預けたい。でもそうでない場合がすごく多い。こっちはカツカツ、預る方もカツカツというのがすごく子育てしている中で不安。
- 欲しい施設はたくさんあるが欲すればきりが無い。そうではなく本当の意味でみんなが幸せになれる策を、横手市ならではの何かがあったらすごくこれから先につながるのではないかと思う。
- 双子や高齢出産、転勤で頼れる親族がいないなど、条件が厳しい中で子育てされている方たちに対してのフォローを充実していただきたい。
- Y²ぷらざのファミサポを利用しているが、ファミサポを使うと仕事が理由であれば一時預かりの助成金がいただける制度がある。しかしその年齢の枠を外れて利用できない。あまり区切りを設けると結局そのために予算付けて頂いてお金が準備されているはずなのに、実際ふたを開けてみたら利用できないことになる。みんなが使えるように使わせて欲しい。

- ・ファミサポについて、当日預けたいとか、当日具合が悪くなって頼る人もいない時に電話したら当日はダメだと言われた。事前予約という事だったが事前に具合は悪くならないから予約できない。改善して欲しい。
- ・同意見。私も具合が悪くて病院に行ったら3時間も待たせられたことがあったが、子どもも連れて行かなければいけないし、でも預ける人はいないし、当日じゃファミサポは受け付けてくれないということがあった。多分それは子ども育てているうちに何回も来ることなので、これからのことも考えるとすごく不安なので当日でも預かれるところがあれば本当にすごく心強い。

【子育て情報について】

- ・横手市の子育てサークルや遊ぶ場所などを調べようと思っても情報が分かりにくい。
- ・情報サイト「はぐはぐ」もほぼ毎日見ている。しかし土日はあまりイベントがやっていない。県でやっているイベントなども情報を充実していただけたらと思う。そういう意味でのサイトの充実。
- ・情報サイト「はぐはぐ」に、様々な横手市以外の取り組みや民間の情報などを、サイトに載せられないのであればリンクを張る事はできないか。情報が一つに集約されていた方が絶対見やすいと思う。
- ・情報サイト「はぐはぐ」がもったいない。専門に更新する人がいた方が情報がしっかりしてもっと活用できるものになっていくのではないかと思う。人の問題、予算の問題になるとは思うが。

【子育て環境・施設について】

- ・仙台市から引っ越してきたが車が無く、バス停も分からないし駅も遠く、歩いて行けるところで遊ぶような子育てスペースが全くなく、1年間引きこもり状態になってしまい本当に困った。
- ・仙台から引っ越してきたがそこには1階が図書館スペース、2階にお母さんたちが自由に使える座敷や、子育ての情報交換をする部屋、自由に借りられるフリースペースが何個もあり、お弁当を持ち込んでワイワイ話せるようなスペースがあった。そういう場所を横手市で探したが無かった。
- ・両親などの頼れる人が誰もいない時に、親が眠れなくなっているような状態の時に休める環境が全くない。東京では親がお昼寝できるように仮眠室がある子育てセンターがある。
- ・小学生と幼稚園児とゼロ歳児を育てているが、年齢が幅広く入場規制があるため3人を一緒に連れて遊びに行けるところがない。
- ・他県は子育て支援センターがたくさんある。横手市でも欲しいなと思うのは下から水が出るような公園、あれはプールと違って遊ばせていても危なくない。また他県を見ると体を十分に動かせるアスレチック施設みたいなものが充実しているので、横手市でもそういうところが欲しい。子育て支援センターとふるさと村があるが小学生もいて、乳幼児だけで安全に安心して遊べるところが少ないと感じていた。
- ・横手市は雪が多く、Y²ぷらざに来ても冬は駐車に困る。Y²ぷらざの下には4台分屋根付の駐車場があるが空いていないことが多い。複数の子どもがいての車の雪よせはすごく大変。屋根が無いと施設の中に出たり入ったりする時にもすごく苦勞する。
- ・Y²ぷらざの駐車場が雪になるともう止められない、屋根があるところが少なすぎる、屋根のあるところも乳幼児優先だけれども、そうでない人がいつも停めている。
- ・Y²ぷらざに高校生の勉強スペースを確保して欲しい。子育てママの使える場所がなくなる。

- ・駐車スペース、子どもが図書館好きで図書館を探したが、横手図書館の駐車場は三台くらいしかスペースが無く停められなかった。
- ・横手図書館の駐車場が狭い。施設の中が暗くて陰気くさく、子どもが喜ぶ環境ではない。
- ・増田の図書館が良い。子どもの本の量も多いし、大人が読む本も多い。じゅうたん張りなのではいいにしてもいいので乳児も一緒に連れて行った時にすごく助かっている。
- ・街中の公園が少ない。遊具もあって水遊びもできるようなところが欲しい。
- ・自転車に子どもを乗せて公園を回ったりするが、公園の数が足りないとはあまり思わない。ただ公園内の掃除、特に遊具の清掃の方をもう少しやってもらえればうれしい。
- ・良く行く公園でアスレチックにテープが張られて使用禁止になっている時がすごく残念だと思う。みんな大きい遊具に目がけて行くが、そこが壊れたまま放置されているとそこはどうかと思う。
- ・横手市はサッカーのグラウンドが一つしかない。横手市にもう1つグラウンドがあれば良いと思う。
- ・屋内の人工芝グラウンドっていうのはフットサルとテニスとゲートボールが併用して使えるのでそういうのも作ったらサッカーも困らない。スポーツ施設みたいなのところにいろいろ詰め込んで小学生が体を思いっきり動かせる所だったりカフェだったりといったものを入れた場所があればいいと思う。
- ・屋内のプールが欲しい。夏も屋根があると助かる。
- ・バーベキューができる屋根付の場所が欲しい。
- ・体育館の利用料が安く、いつも予約がされていて使えないことが多い。2～3人で体育館を使っているケースが多いので、もう少し料金の改定をしていただきたい。団体と個人での予約の金額などを考えて欲しい。
- ・駅前再開発の話があるが、そこに子どもを見ながらランチやお茶ができるわんぱく館みたいなのところがあればいいと思う。土日も営業して欲しい。
- ・横手市は子育て支援施設が豊富だと思っている。

【その他】

- ・かまくら祭りに暖かい場所が無いと思う。バスの移動で待っている時に震えている人が多い。スポットスポットの間に歩いて楽しめる屋台や、寒くて震えるだけの移動でなく楽しい移動ができるように考えた方がいいと思う。人力車的な考えで横手市では犬ぞりのようなものに乗せて移動させるような取り組みがあっても良いと思う。
- ・スキー場について。無くすることは簡単だと思うが、やはり外で遊ぶ機会をどんどん制限してしまうとただ家にいるだけになってしまう。それこそ雪が長い時期にスキー場が減るっていう事は、なかなか大変。スキー場が無理なのであれば、そりを滑るような場所だけでもよい。ちょっとの工夫でできるものがあればと思う。

8. 懇談会の様子



